



# 大和川線

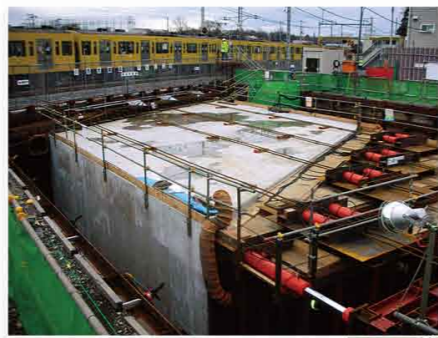
まち、川、緑とともに 大和川線  
HANSHIN EXPRESSWAY YAMATOGAWA ROUTE NEWSLETTER

平成26年度末の完成にむけて、大和川線の《旬》をお届けします。

## 技あり!

### 営業中の鉄道直下で工事が進行!

大和川線が南海本線および阪堺電気軌道阪堺線と交差する部分においては、鉄道および軌道の直下で工事を進めることになります。鉄道や軌道は地域の皆さまの重要な移動手段であり、大和川線建設工事のために電車を止めることは出来ません。したがって、鉄道や軌道の運行と密接な連携が必要となることから、これらの箇所については、鉄道や軌道の事業者である南海電気鉄道(株)および阪堺電気軌道(株)に工事を委託しています。



▲【工事中】西武線・狭山ヶ丘

### 大和川線以外でのR&C施工事例



▲【完成後】鹿兒島本線・海老津

ここでの工事は、営業中の鉄道や軌道の直下で工事を進めるため、R&Cという非開削工法(地表面から土を掘らない工法)が用いられています。このR&C工法は、上部の地盤や構造物に影響を与えることなく工事を進めることができます。



## 沿線レポート!

大和川線沿線連絡協議会  
東浅香山校区自治連合会 会長 龍野 健

### 地域発展のため、大和川線に期待しています!

大和川線沿線連絡協議会は、大和川線沿線の7つの自治連合会(三宝・錦西・錦綾・浅香山・東浅香山・新浅香山・五箇荘東)の会長で構成されており、大和川線に関する意見や要望等についての情報交換、連絡調整などを行い、地域の活性化を図るため相互に協力することを目的として、平成6年から活動しています。また、阪神高速道路(株)や関係機関と基本的なことについての窓口でもあり、沿線7自治連合会が一体となって活動しています。

大和川線については、広域道路網の役割はもちろんですが、何より沿線地域の発展につながればと思っております。工事もかなり進んできておりますが、今後とも環境対策に配慮し早期の完成を願っております。

最後に、この広報誌により大和川線について地域の理解が深まるものと喜んでおります。今後は工事のことだけでなく、出来るだけ地域の皆さんの意見を掲載していただき、より一層、地域密着型の広報誌となるよう期待しています。



▲大和川線沿線連絡協議会での現場視察



## 現場レポート!

阪神高速道路株式会社  
堺建設部 大和川線建設事務所 西海 能史

### 安全第一に工事を進めていますので、応援お願いいたします!

現在建設中の大和川線はいよいよ全区間で工事が始まり、私の担当区間である遠里小野第2工区など、一部の区間ではトンネルが完成しています(詳しくは3面《大和川線 NOW》参照)。

これから工事が佳境に入るにつれて、沿線の皆さまのますますのご協力が必要となります。私共も皆さまのご期待に応えられるよう、大和川線関係者全員が力を合わせ騒音・振動等に一層気をつけて安全第一に工事を遂行していきますので、応援よろしくお願いいたします!

## 大和川線Q&A

大和川線やニュースレターに関する疑問、質問、ご意見などは下記までご連絡下さい。

**Q** 大和川線の工事を見学したいのですが、現場見学会の開催予定はありますか?

**A** 現場見学会はこれまでも何度か開催させて頂いておりますが、今後も現場の進み具合に応じて実施していく予定です。

## ご存知ですか? 「大和川線」のホームページ

詳しい内容はこちらで検索



# 全区間で工事を進めています!(三宝JCT~三宅JCT)

### 一部区間でトンネル本体が完成!

昨秋、三宝ジャンクションでも工事が始まりました。これで大和川線の全区間で工事が開始されたことになり、いよいよ工事本格化を迎えます。表紙の写真は、30大阪和泉南線上空より国道26号方面(写真上側)を撮影したもので、工事は順調に進んでおり、一部の区間はトンネル本体も完成しています。



(株)大阪建設工業新聞社提供

工事期間中は、何かとご迷惑をおかけしますが、皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。



阪神高速道路株式会社 建設事業本部 堺建設部  
〒590-0075 堺市堺区南花田町2-3-20 (住友生命堺東ビル5階)  
TEL: (072)226-4801 FAX: (072)226-4602

PRINTED WITH SOY INK  
この印刷物は、環境にやさしい「植物性大豆インキ」を使用しています。



©A.M.U.4

謹んで地震災害のお見舞いを申し上げます。  
このたびの東北地方太平洋沖地震により被害を受けられました皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復旧を心からお祈り申し上げます。

# 『開削トンネル工事』をのぞいてみよう!

## 安全、安心、確実な工事の進め方です!

大和川線は全区間の約7割がトンネルで、周辺環境や景観に配慮した構造となっています。トンネルを造る方法はいくつかありますが、大和川線では主に開削トンネルとシールドトンネルを採用しています。

今回は、その中でも先行して工事が進んでいる開削トンネルの進め方について、ご紹介します。

開削トンネルというのは、下絵のとおり、地表から土を掘り、できた穴の中にトンネルを造っていきます。開削トンネルの工事は、目に見える形で確実に進めることができ、多くの実績もあることから、安全、安心な工法です。



▲ 地面を掘っている状況

### 開削トンネル工事の進め方



▲ 土留壁の施工状況

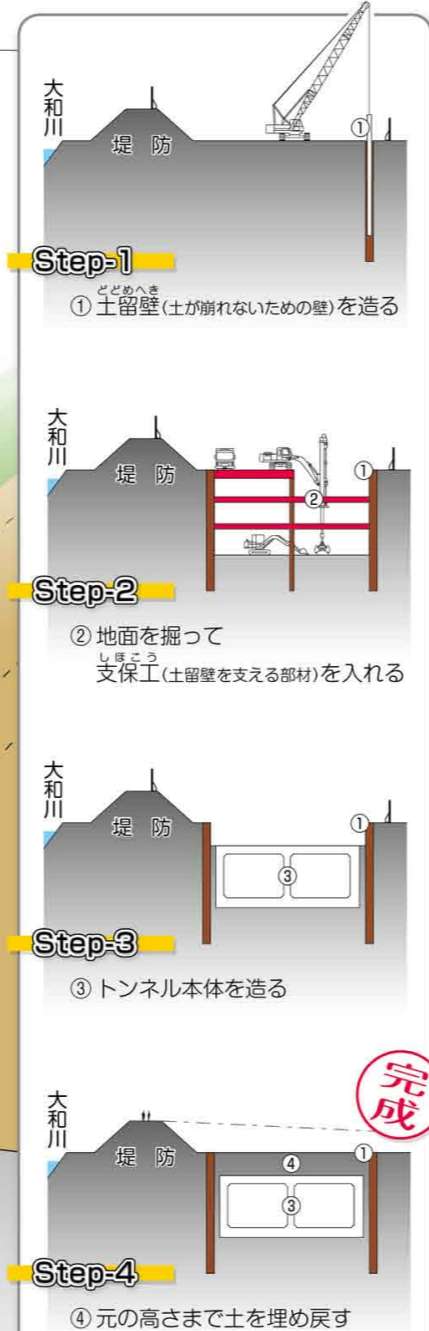


▲ 開削トンネルの一部完成状況



©A.M/R-19

★ 開削トンネルイメージ ※ 実際の構造とは異なります。



### 周辺環境対策

工事は、以下のことを守りながら進めています!

- 低騒音、低振動型の機械を使うことはもちろんのこと、騒音振動計により周辺地域の皆さまへ常に測定値をお示しするとともに、工事関係者への環境に対する意識を高め工事を行います。
- 現場内では散水を行い、砂ぼこりが飛ぶのを防いでいます。
- ダンプトラックは、重量計測により過積載を防いでいます。また、工事用車両のタイヤ洗浄を行い、現場から土を持ち出さないようにしています。

その他にも、周辺地域の皆さまとお話ししながら、環境に配慮して工事を進めています。



写真左から：騒音振動測定値の表示、低騒音型適合マーク、公道走行前のタイヤ洗浄、過積載防止重量計測の実施



## 大和川線 NOW

平成 23 年 3 月現在

## 全区間、安全第一で工事を進めています。



▲ 三宝第1工区《4号湾岸線西側》

大和川線が4号湾岸線とつながる場所で、高架道路を支える柱を造っています。



▲ 三宝第3工区(その1)《大阪臨海線西側》

地面を掘りながら支保工(土留壁を支える部材)を入れています。



▲ 七道工区《南海本線東側》

土留壁が完成し、掘削機械やダンプトラックが載って作業する土台(栈橋)を造っています。



▲ 南海本線交差工区《南海電気鉄道(株)が施工》

軌道の下に、水平ルーフと呼ばれる部材を押し込んでいます。



▲ 遠里小野第2工区《大阪和泉南線東側》

地面の下にはトンネルが一部完成しています。写真奥では、大阪和泉南線の下の土を掘っています。



▲ 常磐工区《常磐浜寺線西側》

西除川において、開削トンネル工事のための準備作業を進めています。